

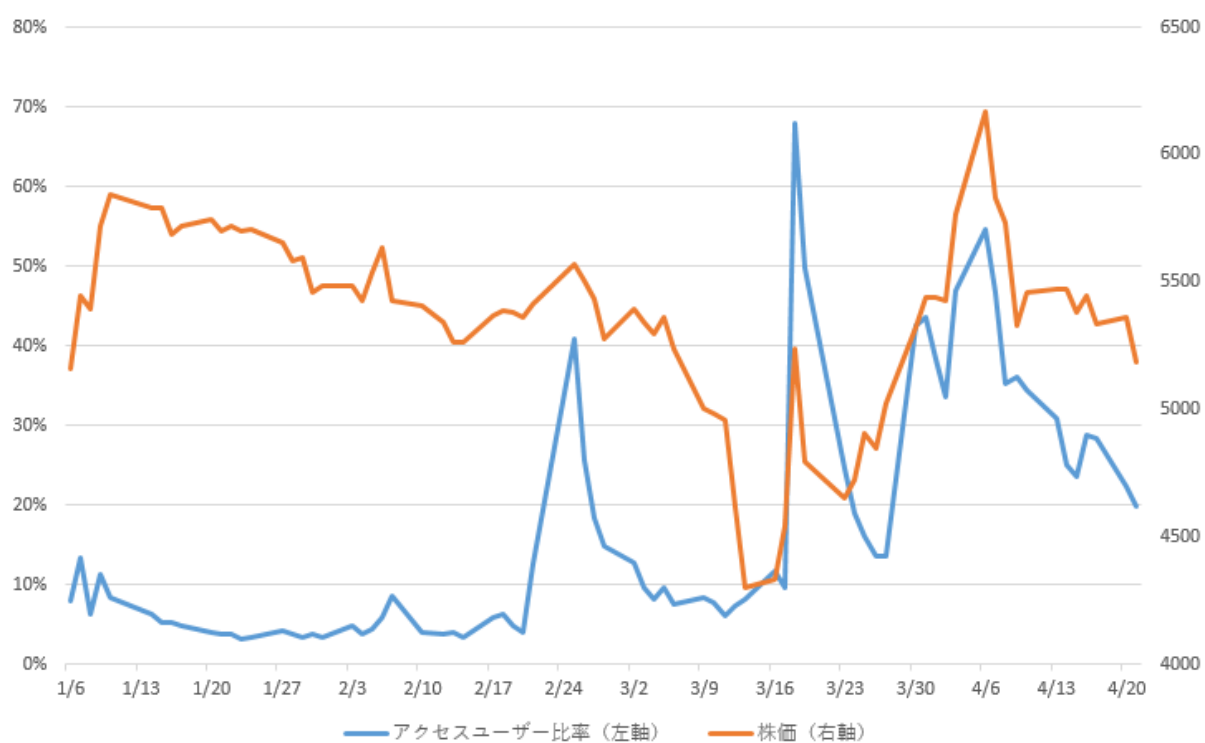
アクセスランキングから読み取るマーケットインパクト

金融情報端末「Qr1」の銘柄別アクセス数の増減と株価の関連を調べた。

下図は富士フィルムホールディングス（4901）のアクセス数と株価の関係だ。

新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、富士フィルム傘下の製薬会社が開発した抗インフルエンザ薬「アビガン」への期待が高まっている。こうした期待をうけ多くのQUICKユーザーが富士フィルム株に注目し、株価も上昇した。

アクセス数はその株式への投資家の注目度の大きさを示しており、株価にどれほどの期待が織り込まれているかを測るバロメーターとして使えるようだ。



続いて、日中のアクセス数の変化と株価の関係も調べた。三井製糖（2109）の3月25日のアクセス数と株価の関係を30分ごとに描画したのが下のチャート。



アクセスが14時～14時30分時点で急増していることがわかる。この銘柄は14時15分に三菱商事の子会社との経営統合が報じられ、株価が急騰した。14時18分～56分まで取引所が真偽確認のために売買停止措置を講じており、ユーザーの注目を集めた。アクセスランキングのデータを使えばこのような投資家の動向をいち早く知ることもできる。